

「あづましく」新短梢せん定栽培法の検討

福島県果樹試験場 栽培部

平成17年度福島県果樹試験場試験研究成績書

1 部門名 果樹－ブドウ－整枝・剪定

分類コード 04－04－08000000

2 担当者 桑名篤・志村浩雄・畠良七・松野英行・永山宏一・佐藤守

3 要 旨

本県オリジナル品種の「あづましく」における新短梢せん定栽培法の検討を行った。

(1) 過去3年間において、新短梢せん定栽培と慣行栽培との間に生育経過の違いは認められなかった。

(2) 慣行栽培は幹周が太く、樹冠の広がりも早い傾向にあったが、有意な差は認められなかった。1樹当たりの収量は一文字型がやや少なかったが、樹冠占有面積当たりの収量では最も多い結果となった。また、果実品質は慣行栽培と有意な差は認められなかった。

(3) 新短梢せん定栽培を行っても慣行栽培と同等の品質の果実生産が可能であると判断された。作業性等を考慮すると、新短梢せん定栽培は有効な技術であると思われた。

(4) 試験場内ほ場での調査と並行して現地調査も実施した結果、せん定位置は第1芽のみを残してせん定するよりも、第2芽まで残してせん定する方が、有花穂新梢率が高いことが明らかになった。

4 その他の資料など

(1) 平成16年度福島県果樹試験場試験研究成績書

(2) ぶどう「あづましく」短梢栽培の手引き